

令和6年度 古河市立下辺見小学校の教育ビジョン

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる

いばらき教育プラン

基本理念

『活力があり、県民が
日本一幸せな県』
Ⅲ 「新しい人材育成」
茨城県の未来をつくる「人財」を育て、日本一子供を産み育てやすい県を目指します

校訓

やさしく かしく たくましく

学校教育目標 心ゆたかにたくましく夢や目標をもって生き生きと学ぶ児童の育成

めざす学校像 明るく楽しい学校 学び合える学校 協働し合える学校
めざす児童像 思いやりのあるやさしい子 生き生きと学ぶかっこいい子 心身を鍛えるたくましい子
めざす教師像 思い情熱と使命感をもつ教師 健康で人間性豊かな教師 理解力と指導力のある教師

組織目標 一人一人がつなぐ・つなげる、組織力の向上

研究テーマ 算数の授業における効果的な「可視化」、「焦点化」、「言語化」の実践
～新下辺見スタイルの導入・推進～

古河市教育振興基本計画

「人が育ち文化の息づく
古河(まち)をつくる」

古河市学校教育の目標

○一人一人の個性や能力を
伸ばし確かな学びをはぐくむ
○健やかな体をつくり、
たくましい心を養う
○郷土古河を愛し、
豊かな心をつちかう

やさしくチーム

青字は児童対象アンケートにおける
「そう思う、ややそう思う」の割合
(R5.7月→12月)

1 思いやりがあり、規律のある子どもの育成

- (1) 道徳、人権教育の充実
- (2) きまりを守り、友だちと仲良くできる子の育成
- (3) 「あいさつ」、「返事」等の「凡事徹底」
- ・元氣なあいさつをしている 88.4%→91.3%
- ・きまりを守り、友達と仲良くしている 86.5%→96.2%

2 一人一人が輝く学年・学級経営の充実

- (1) 一人一人の居場所と安心できる学年・学級づくり
- (2) 自己肯定感、有用感を高める学年・学級づくり
- (3) 学級活動・学校行事の充実による絆づくり
- ・クラスは安心して仲良く生活できている 91.4%→94.8%
- ・自分にはよいところや得意なことがある 90.8%→89.9%
- ・学校は楽しい 93.0%→95.4%
- ・いじめを許さない 96.2%→97.3%

3 組織的な生徒指導の推進

- (1) 教員一人一人の生徒指導力の強化
- (2) 未然防止・早期発見・早期対応の徹底
- (3) 新たないじめ・不登校を生まない学年・学級づくり

重点目標

- ・元氣なあいさつをしている
目標95% ※91.3%(R5.12月)
- ・学校は楽しい
目標95% ※95.4%(R5.12月) 達成
- ・いじめを許さない
目標100% ※97.3%(R5.12月)

かしくチーム

1 生き生きと「学ぶ」子どもの育成

- (1) 「可視化」、「焦点化」、「言語化」を重視した
「新下辺見小スタイル」による授業の改善
- (2) 安心して授業に取り組むことができる
学習規律の確立
- ・先生の授業はわかりやすい 95.4%→95.7%
- ・授業では自分で進んで考えたり、友だちと教え合ったりしている 90.0%→94.8%
- ・授業中、「式・図・言葉」「まず・次に・だから」などを使って自分の考えをわかりやすく伝えている 82.4%→79.8%

2 家庭学習と読書の充実

- (1) 授業と連動した家庭学習の工夫
- (2) タブレットの効果的な活用
- (3) 読書量の目標達成と読書時間の確保
- ・家庭学習に毎日、取り組んでいる 91.9%→92.4%
- ・年間50冊を目指して読書している 74.9%→77.9%

3 個に応じた支援教育の推進

- (1) 個に応じた支援体制の確立
- (2) ユニバーサルデザインによる授業づくり
- (3) 特別支援教育の研修推進

青字は児童対象アンケートにおける
「そう思う、ややそう思う」の割合
(R5.7月→12月)

重点目標

- ・授業がわかりやすい
目標95% ※95.7%(R5.12月) 達成
- ・家庭学習に毎日、取り組んでいる
目標95% ※92.4%(R5.12月)
- ・年間50冊を目指して読書している
目標80% ※77.9%(R5.12月)

たくましくチーム

1 ねばり強く、たくましい子どもの育成

- (1) 積極的に運動に取り組む体育の授業づくり
 - (2) 運動が好きになる学校環境の整備
 - (3) 体力テスト等における課題の克服
 - ・体育や休み時間に元気に運動している 87.3%→88.0%
- ### 2 健康・安全教育の充実
- (1) 健康・安全に関する学級活動の充実
 - (2) 生活・交通・防災安全教育の徹底
 - (3) 食育(栄養教室)の推進
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯」を実践している 88.6%→85.0%
 - ・健康診断の結果に注意して、病院に行ききちんと治そうとしている 90.8%→90.7%
 - ・給食は好き嫌いをせず、食べている 75.1%→76.8%
 - ・道路の歩き方や自転車のルールを守っている 96.8%→96.2%

3 安心・安全な学校づくりの推進

- (1) 全職員の危機管理能力の向上
- (2) 避難訓練、引渡訓練等の充実
- (3) 食物アレルギー・感染症等への適切な対処

重点目標

- ・体育や休み時間に元気に運動している
目標90% ※88.0%(R5.12月)
- ・給食は好き嫌いをせず、食べている
目標80% ※76.8%(R5.12月)
- ・交通安全のルールを守っている
目標100% ※96.2%(R5.12月)

働き方改革チーム

1 いつも元気でがんばる 職場環境づくりと人材育成

- (1) 持続可能な学校教育を
目指して業務改善
- (2) アフターコロナを見据えて
元に戻さない工夫
- (3) 働き方改革の
成果としての人財育成
- ・働き方が改善されつつある
教職員の「そう思う、
ややそう思う」の割合
75.0%(R5.7月)→77.2%(12月)

2 学校運営協議会との連携

- (1) 地域に根付いた
学校運営の充実
- (2) 地域・保護者・学校による
協働活動の整備・充実
- (3) コンプライアンス遵守の
協力体制づくり
- ・コンプライアンスを遵守し、
不祥事が起きにくい学校である
教職員の「そう思う、
ややそう思う」の割合
80.0%(R5.7月)→91.0%(12月)

重点目標

- ・超過勤務時間、月45時間以内
目標100% ※80%
- ・過労死ライン80時間以上
目標0 ※4.5月以外達成